

まちひとしごと

Vol. 53

北海道倶知安農業高等学校
教諭 前田 義江 さん

生徒の気持ちに寄り添いながら 育った町に恩返しを



農 高で家庭科の教員を務める
前田義江さん。

倶知安町で生まれ育った彼女は、学生時代は吹奏楽部に所属。その時に出会った恩師の影響から『生徒に寄り添うことのできる教員になりたい』と思い、道内の大学に進学、卒業後は帯広市で教員の道をスタートさせた。

現在は、倶知安農業高校で教員を務める一方、立ち上げ当初から所属するくつちゃんブラスオーケストラの一員として、イベントでの演奏活動や、町内の中高生への技術指導などを行っている。

「最近ではコロナ禍で、演奏を披

露する機会が少なかったですが、いつかまた演奏会ができる日が来るのを楽しみに練習を続けています。今は、技術指導を通して学生たちと一緒に演奏することができ、楽しいと感じるとともに、学生の頑張る姿は、自分たちの活動の励みにもなっています」

同校に赴任して6年目を迎え、現在は『農高のおみせ』のテークアウトメニューや『日本酒プロジェクト』の酒粕スイーツの開発などを生徒たちと一緒にやっている。

学校では、生徒とのコミュニケーションを大切にしていると話す彼女だが、高校生の柔軟な発想力には、日頃から驚かされているという。

「農業高校では実習が多く、いろいろなことを体験できるので、生徒たちがいきいきしていると感じます。彼らの発想から新たな活動に広がることもたくさんあり、私自身も生徒と一緒に調理や商品開発を行うことは、日々発見があつて面白いです」

同校は、(有)二世古酒造との『日本酒プロジェクト』をはじめ、地域の人たちと一緒に倶知安町を盛り上げたいと活動する。

前田さんは、同校の教員として地域と関わっていくことで、地元の町に貢献できればと話す。

「生徒が自分たちで考え、成長できるように、教員としてサポートするのが役目だと思っています。この学校は、地域に密着した活動も多いので、これからも多くの人と関わりながら、少しでも町の力になれたらと思います」

地域とともに活動を行う倶知安農業高校。この学校が、この町にあるということは、子どもたちの可能性を広げるために、とても意味があることだと思う。

これからも高校生の若い力で、この町とそこで暮らす人たちに元気を与え続けてくれるだろう。

そして、そんな彼らのすぐ横には、前田さんのような『生徒に寄り添う』ことができる教員の姿が、きっとあるはずだ。